



● ラーjasターン州の文化 ●



● ラーjasターン州の料理 ●



● ラーjasターン州の伝統的な靴 ●

ラーjasターン州

ラーjasターンはまるで万華鏡のように色彩と多様性に満ちています。観光客にとって、この州ほど多様な魅力を一ヶ所で味わえる場所は他にありません。黄金色のタール砂漠には数々の険しい岩や豪華な宮殿が点在し、その内部はまるで息を飲むような美しさです。また、砂漠の州でありながら、静かな湖畔に浮かぶ島や湖畔の宮殿、渡り鳥やベンガル虎で知られる野生動物保護区も驚きです。生きた伝統と色鮮やかな文化——祭りや陽気な音楽、活気ある舞踊、手工芸の数々——は、訪れる旅行者を魔法のように魅了します。ラーjasターンは、無数の感動的な光景の地。ぜひ、この魅惑の迷宮に迷い込んでください。



RAJASTHAN
The Incredible State of India!

Department of Tourism, Paryatan Bhawan,
Opposite Vichayakpuri Police Station,
Sanjay Marg, M.I. Road, Jaipur - 302001
+91 141 2822800, 2822863
tourism.rajabasthan.gov.in



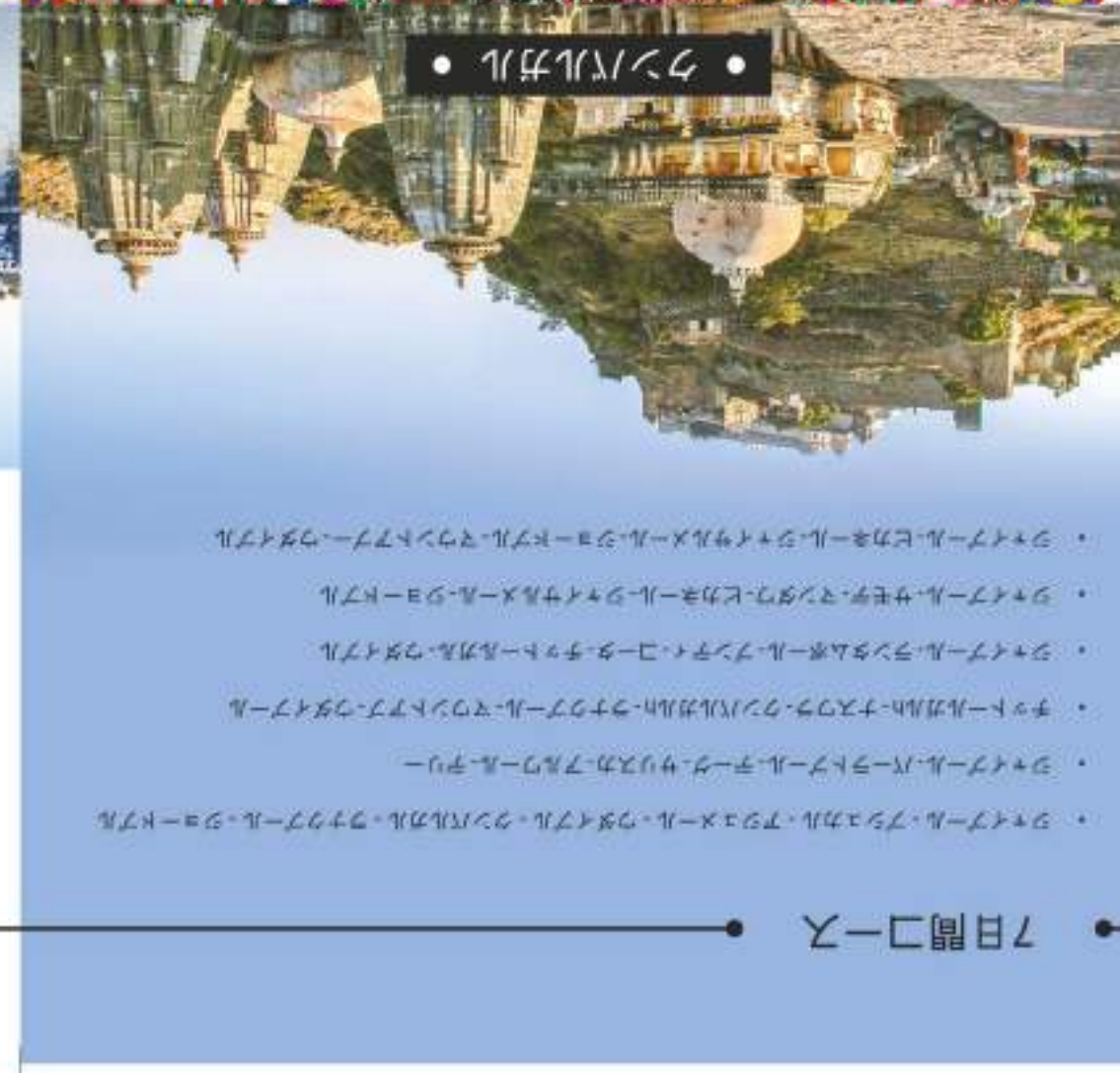
● ミニチュア絵画 ●



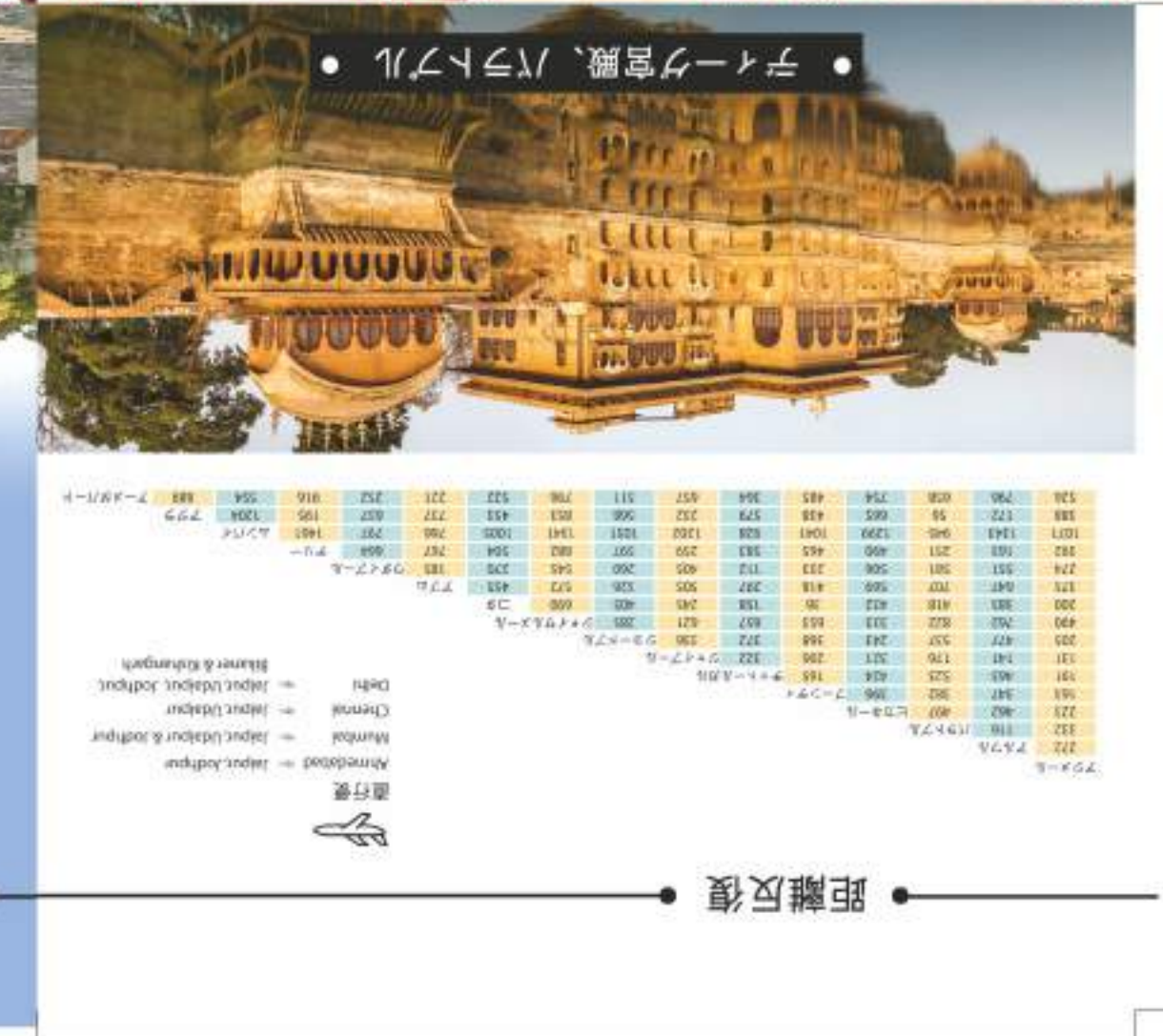
● ラーjasターン州の文化 ●



● ラーjasターン州の文化 ●



● ラーjasターン州の文化 ●



● ラーjasターン州の文化 ●

3日間コース

5日間コース

7日間コース

距離反復

● ジャイプール ●

ジャイプールは創始者マハラジャ・サワイ・ジャイ・シング2世にちなんで名付けられました。都市設計と建築を担ったヴィディヤダール・バッタチャリヤは、古代インドの都市設計理論『シルプ・シャーストラ』に基づいて都市を設計し、インド初の計画都市となりました。1876年、ヴィクトリア女王の配偶者アルバート王子を迎えるため、街はピンクに塗られ、「ピンクシティ」として知られるようになりました。

優れた手工芸の産地であり、特に金細工、ブルーボタリー（藍色陶器）、宝石、ジュッティ（伝統靴）、絞り染め布（タイダイ）、ミニチュア画、手すき紙などが有名です。

主な見どころ

ジャイガルとナハルガル城塞、琥珀宮殿、風の宮殿、シティ・パレス、ジャンタル・マンタル、アルバート・ホール博物館、ゴビンド・デヴ寺院、ジャル・マハル



● アルバート・ホール、ジャイプール、●

● サワイ・マドホーブル ●

この町は王室の歴史と雄大な虎との出会いが楽しめる特別な場所です。標高約200mの丘の上に築かれた壮大なランタンポール要塞は、13世紀にチョーハーン族に、のちにムガル帝国のアクバル帝やアウラングゼーブ帝に支配された歴史を持ちます。1754年、ジャイプールのマハラジャ・サワイ・マドホ・シング1世によって狩猟保護区となりました。アールヴァリ山脈とヴィンディヤ山地にまたがるランタンポール国立公園は、面積392平方キロメートルで、インド有数の虎保護区です。園内には三つの人工湖が景観美をいっそう引き立てています。

ベスト訪問時期：10月～4月

主な観光地

ランタンポール要塞、スルワール湖、チャマートカー寺院、カチーダ渓谷、クンダル要塞、トリネートラ・ガネーシュ寺院、アマレシュワール・マハーデヴ寺院



● ランタンポール、サワイ・マドホーブル、●

● ウダイプル ●

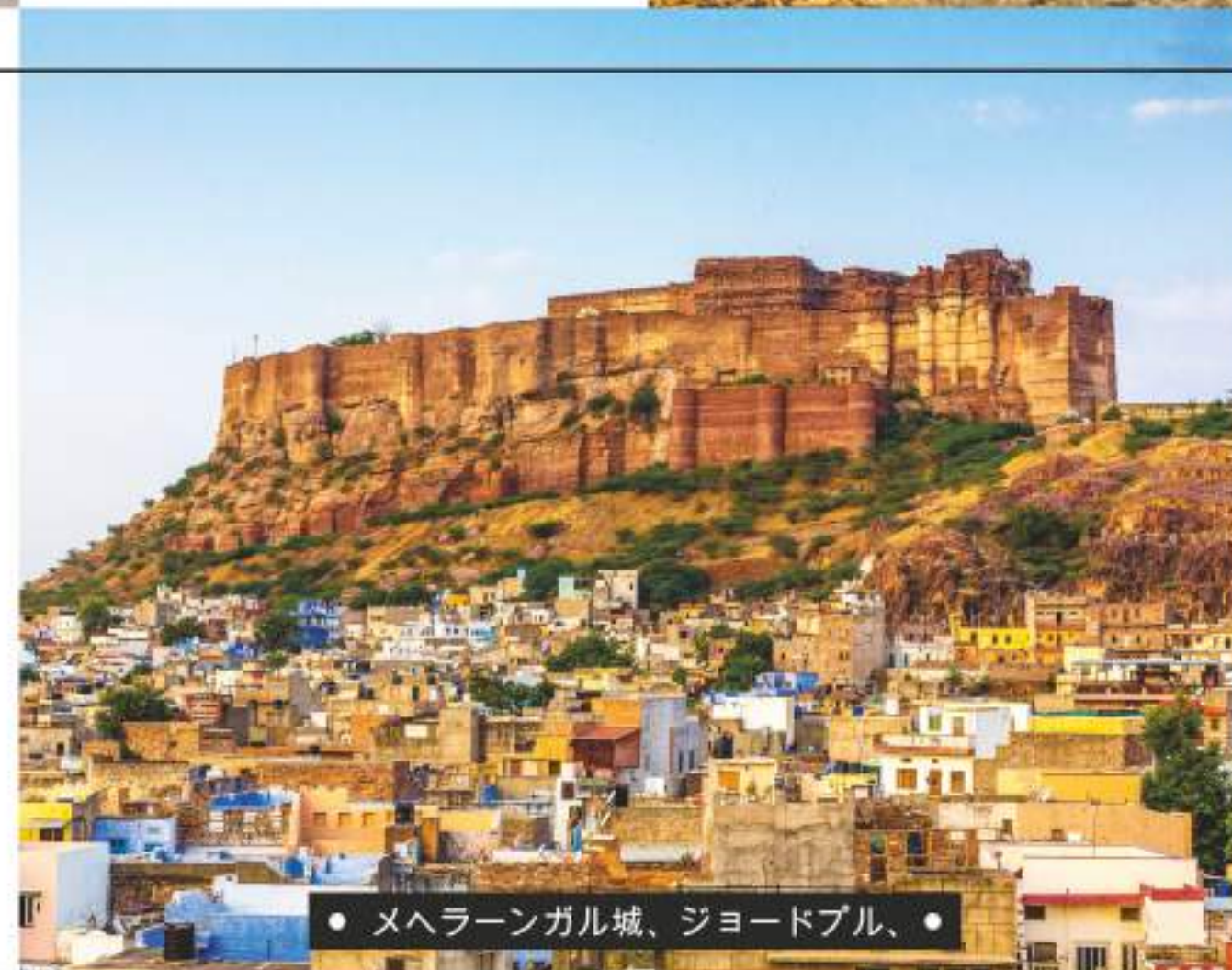
青々としたアールヴァリの丘に囲まれ、「湖の都」として名高い、インドでも最もロマンチックで美しい都市の一つです。1553年にマハラナ・ウダイ・シングによってピチョーラ湖畔に建設されました。その周囲には、湖水に浮かぶ島々の宮殿や寺院、庭園など、まるでおとぎ話の世界のような風景が広がります。特に湖中に浮かぶジャグ・ニワス（レイク・パレス）とジャグ・マンディルは、伝統的なラージャプート建築の華麗な例として圧巻です。

主な見どころ

シティ・パレス、ジャグディーシュ寺院、バラティヤ・ロク・カーラ・マンデル（民芸博物館）、セヘリヨン・キー・バーリ庭園、ファテシュガル湖、シルアグラム村落博物館、バゴリ・キー・ハヴェーリー、サージャンガル、エクリング寺院、ハルディー・カーティ、カンクローリー湖、ジャガット&ジャイサマンド湖



● ウダイプルのシティパレス、●



● メヘランガル城、ジョードプル、●

● ジョードプル ●

タール砂漠の荘厳なロマンスを伝える城塞都市。1459年にラートホール家のラオ・ジョーダー・ジガラマ王の末裔を自称し建築した、かつてのマルワール王国の都です。16世紀には交易の中心地として栄え、現在はラージャスターン州で第二の大都市です。長さ10km、八つの門を持つ城壁に囲まれ、要塞や宮殿群は壮麗そのものです。絞り染め布、刺繍入り革靴（ジュッティ）、漆器、ジョードプル風ズボン、カーベット、マクラーナ大理石土産など手工芸品も豊富です。10月に開催される2日間の「マルワール祭」では、メーラーンガルを背景にフォークアーティストが伝統芸能を披露します。

主な観光地

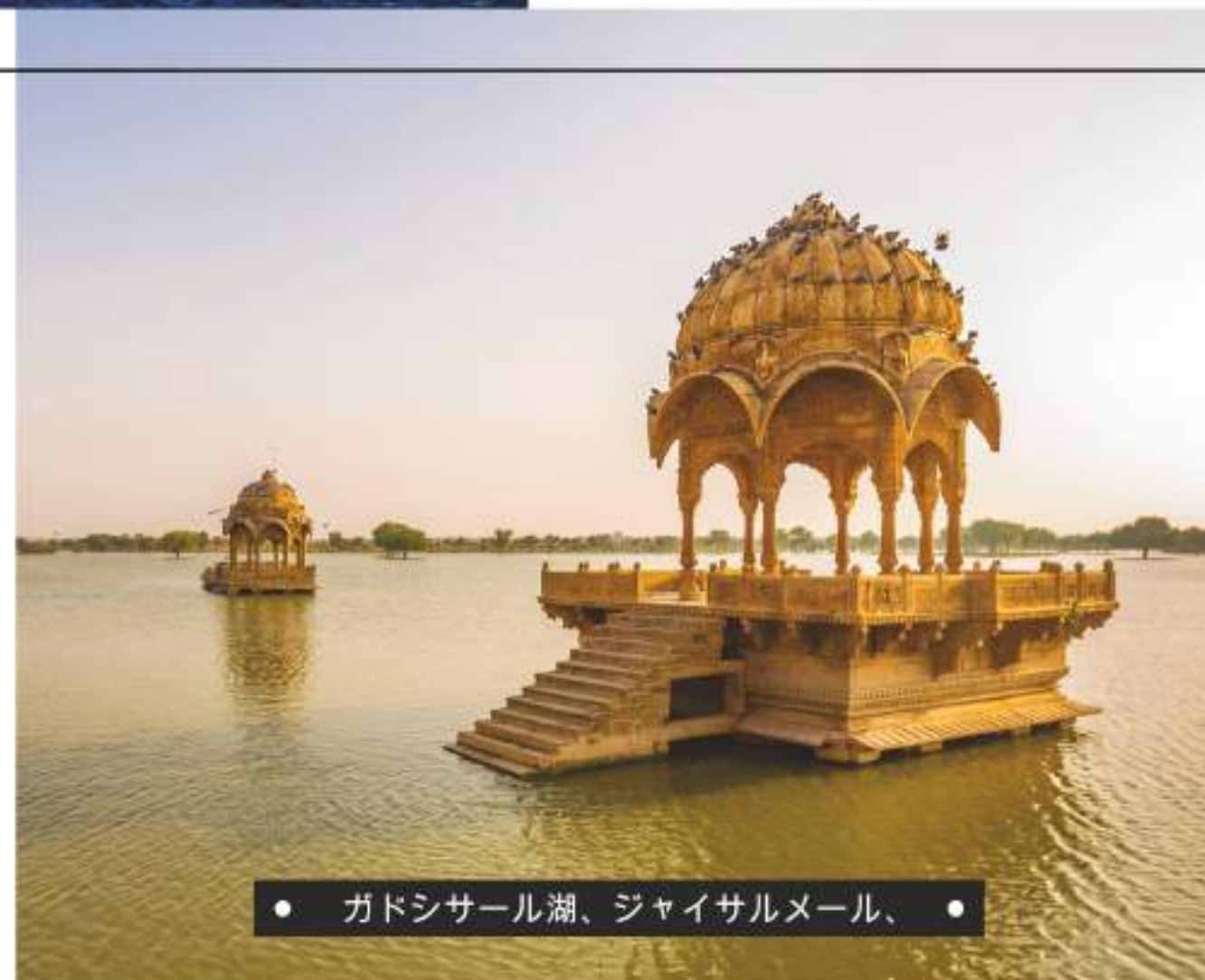
メーラーンガル城、ウマイド・バーワン宮殿、ジャスワント・ターダ、マンドーレ、マハーマンディール寺院、カイラナ湖、バルサマンド湖&宮殿、オアシアン、考古学博物館、マチア生態公園、サルダール博物館、キチャン

● ジャイサルメール ●

タール砂漠の中心に黄金の蜃気楼のようにそびえる「黄金の砦」。その起源には興味深い伝説があります。ヤダヴ族の長であるクリシュナ神が、彼の子孫がトリクータ丘陵に王国を築くと予言し、その予言通り1152年にラウル・ジャイサルがこの都市を築いたと伝えられています。高さ80mの丘頂にあるこの砂岩の砦には、町全体が砦壁の内側に収まり、四つの門と迷路のような通路で外敵から守られています。豪華な宮殿、精緻な彫刻の寺院、豪壮なハヴェーリーが立ち並び、その建築美は圧巻です。さらに、朝焼け・夕焼けが黄金の城を一層輝かせます。2月に開催される3日間の「砂漠祭」では、フォークダンスや音楽、色とりどりの工芸品、ターンパン結び競技、ラクダレース、ミスター・デザートコンテストなどが行われ、砂丘を彩ります。

主な観光地

ジャイナ教寺院、ナトマルジ・キー・ハヴェーリー、バトワオン・キー・ハヴェーリー、サリーム・シン・キー・ハヴェーリー、ガドシサル湖、アマルサガル、バダ・バーフ、ルードラヴァ、木化石公園、サム砂丘、国立砂漠公園、戦争博物館、ラウングワラ戦争博物館



● ガドシサル湖、ジャイサルメール、●

● ビーカーネール ●

砂漠三角地帯に位置する独特の魅力ある都市、ビーカーネール。1488年、ラートホール家の王子ラオ・ビーカージが、「ジャングルデュー」と呼ばれた荒野に都市を築き、自らの名にちなみ「ビーカーネール」と名づけました。中央アジア・北インドからグジャラートへの交易路に位置することでもかつては交易の中心地として栄えました。赤や黄色の砂岩で造られた砦や宮殿、寺院は中世の趣を色濃く残し、その建築美は今も際立っています。「砂漠の船」と称されるラクダは、荷車を引き、穀物を運び、井戸で働くなど暮らしに深く根差しています。毎年1月に開催されるラクダ祭では、ラクダの装飾やダンス、伝統模様の刈り込みなどの競技が、楽しい祭典を演出します。

主な観光地

ジュナガル砦、ラールガル宮殿、ラクダ育成農場、パンデシュワル・ジャイナ教寺院、ガンガ金婚式記念博物館、デーヴィ・クンド、カルニ・マータ寺院、ガジネル野生動物保護区、コラヤト、カリバーンガ遺跡



● ビーカーネール ●